

【2024年12月期第2四半期(中間期)決算説明会 質疑応答】

実施日:2024年9月17日

説明者:代表取締役社長兼 CEO 塚本浩康

上席執行役員活性本部長 丸山泰次

主な質疑応答内容

(全ての質疑応答の内容を記録したものではなく、ご理解いただきやすくするために一部編集を行っております)

Q1:上半期が増益で、さらに足許為替環境も改善しているように思われるのですが、通期の利益計画を据え置きとされたのは何故でしょうか。

A1:当社の場合、原材料を輸入してから実際に使用するまでのインターバルが4か月程度あり、為替の影響もその分ズレて出てくることとなります。この下半期につきましては4~6月にかけて160円前後まで進んだ円安の影響を大きく受けることとなりますので、当初計画に比べ収益環境は厳しくなっていると判断し、下半期利益計画を下方修正しております。

ご指摘の通り7月以降は一転して円高が進んでいますが、このメリットは主に来期に出てくるものと考えております。

以上